米景気 緩やかな拡大続く

地区連銀報告 製造業など順調

【ワシントン＝御調昌邦】米連邦準備理事会(FRB)は12日発表の地区連銀経済報告(ベージュブック)で、「米経済活動は昨年11～12月にかけて緩やかに拡大を続けた」との見解を示した。不動産や金融業は依然厳しいものの、製造業や小売業、非金融サービスが比較的順調だった。ほとんどの地区で、企業の景気見通しも「前向き」と指摘した。

報告は全米12地区の地区連銀が1月3日までに集めたデータなどから作成。1月25～26日の次回、米連邦公開市場委員会(FOMC)で金融政策を決める際の判断材料になる。

地区別にみると、ボストンなどの4地区が「改善している」と報告。クリーブランドなど6地区は「経済活動が緩やかに増加した」とした。ミネアポリスは「経済が緩やかな回復を続けた」とし、サンフランシスコは「底堅さが増した」と分析した。

製造業はすべての地区ばかに減速し、その後はやや持ち直しているが、力強さには欠ける展開が続いている。

地区別にみると、ボストンなどの4地区が「改善している」と報告。クリーブランドなど6地区は「経済活動が緩やかに増加した」とした。ミネアポリスは「経済が緩やかな回復を続けた」とし、サンフランシスコは「底堅さが増した」と分析した。

製造業はすべての地区で回復続く

商戦の売り上げは「2009年よりも高く、一部では予想より良かった」と判断した。一方、「住宅不動産市場は依然として弱かった」と指摘。雇

ほとんどの地区で、企業の景気見通しも「前向き」と指摘した。

報告は全米12地区の地区連銀が1月3日までに集めたデータなどから作成。1月25～26日の次回、米連邦公開市場委員会(FOMC)で金融政策を決める際の判断材料になる。

地区別にみると、ボストンなどの4地区が「改善している」と報告。クリーブランドなど6地区は「経済活動が緩やかに増加した」とした。ミネアポリスは「経済が緩やかな回復を続けた」とし、サンフランシスコは「底堅さが増した」と分析した。

製造業はすべての地区で回復続く

商戦の売り上げは「2009年よりも高く、一部では予想より良かった」と判断した。一方、「住宅不動産市場は依然として弱かった」と指摘。雇

地区連銀経済報告の景気判断

発表時期	総括判断の表現	景気認識の方向
2010年4月	11地区で、経済活動はやや拡大した	↗
6月	全地区で改善続く。多くの地区で回復ペース緩やか	↗
7月	経済活動は、全体を考慮すると引き続き拡大。2地区は横ばい	→
9月	経済活動は成長を続けたが、減速の兆候広がる	→
10月	経済活動は緩やかな速度ながら伸び続けている	→
12月	米経済は、全体を考慮すると改善し続けている	→
2011年1月	**米経済活動は、緩やかに拡大を続けている**	→

(注)景気認識の方向は総括判断だけでなく、個人消費や企業生産などの個別項目の表現も加味した。1月12日発表分

地区連銀経済報告の分野別判断

消費支出	小売りは全地区で改善。商戦は好調、数地区で予上の売り上げ
製造	全地区で回復続く
金融サービス	借り入れ需要は地区ごとだら模様
非金融サービス	安定または増加。輸送業区ごとにまだら模様
雇用	大部分の地区で、やや底なった
住宅市場	全地区で販売・建築とも迷続く
商業用不動産	地区によりまだら模様。は依然弱いが、賃貸は穏な増加傾向

周辺事態

米国防

来日中のゲーツ米国防長官は13日午前、外務省で前原誠司外相と会談し

た。今

米に向け

の見直し

換し、周

化を進め

た。日米

(2プラ

米軍普天

について

長官は藤

俊美防衛

会談した

外相は

いて、5

堅持する

で沖縄県

要請。ゲ

ム移転や

地返還は

接に関わ

て早期の

東レや帝人、車体軽量化に的

東レや帝人、東京大学などは2011年度から炭素繊維の新しい量産技術の開発に共同で乗り出す。5年以内をメドに現在の生産効率を10倍以上に引き上げる。軽くて丈夫な炭素繊維は今後、自動車向けに市場が急拡大する見通し。車体を軽くできるので、わずかな充電で長距離を走る電気自動車の普及も後押しできる。オールジャパン体制で次の量産技術を確立し、海外勢に先んじて国内外の需要を取り込む。

炭素繊維、生産効率10倍に

新製法を共同研究

量産技術、5年後めど確立

共同開発には三菱レイヨンや産業技術総合研究所も加わる。経済産業省も支援する方針で、ほかの素材メーカーや加工会社に参加を呼びかける。

▼炭素繊維　炭素が強固につながった繊維。鉄と比べて強度が10倍で、重さは4分の1。しなやかで引っ張っても切れない。燃えにくい性質もある。原料の繊維をじっくり焼いて内部の構造を少しずつ丈夫にする。焼き加減の微妙な調節が難しく、時間もかかるため効率生産を阻んでいた。

繊維は、束ねてシート状にしたりして樹脂で固める。航空機の機体や橋脚補強などの建材、スポーツ用具などに応用され、今後は自動車の車体向けが成長市場として注目されている。短時間で曲面など様々な形に加工する技術開発も進んでいる。

新製法は原料を温度を変え繰り返し加熱していた従来法の手間を省く。炭素繊維はまず一般的な原料のアクリル繊維を加熱し繊維質を整える。この耐炎化と呼ぶ加熱工程を省略する方法を考える。すでに新製法にふさわしい新たな原料繊維の作製にメドをつけた。

高温にさらす一段の処理で炭素繊維の製品ができるようになる。各社がノウハウを持ち寄り、高温処理の工程もさらに短縮する方法を探る。熱処理に費やすエネルギーを半減するのも目標だ。新製法の炭素繊維を自動車の車体や部品に採用した場合、鉄と同レベルの消費エネルギーで済み、軽量化に伴う省エネ効果をよりアピールできる。

炭素繊維の現在の世界市場は約3万トン。15年には7万トンになるとの予測もある。用途の5割が建設資材などで、残りがスポーツと航空機の機体向け。すでに東レが高級車の部材向けに量産を始めるなど、今後、自動車向け市場が本格的に立ち上がる見通し。

重さ1トン前後の自動車を3割軽くするには炭素繊維約100キログラムが必要とされる。試算では30年ごろに世界で1年間に生産される自動車の10%に採用されれば、100万トン近くの炭素繊維が必要になる。

電気自動車では1回の充電で走れる距離を延ばすため、車体の軽量化が課題になっている。炭素繊維の量産が進めば、電気自動車の使い勝手が高まると期待されている。

炭素繊維の世界シェア(市場占有率)は東レ、帝人、三菱レイヨンの国内3社で7割を占める。ただ、中国を筆頭に海外勢も技術開発に注力している。

らいふプラス

CO_2相殺、ちょっと貢献

1円からの出費で地球環境に貢献――。携帯電話やパソコンを使って、二酸化炭素(CO_2)を削減するプロジェクトに参加してみては。

総合

世界の今年3.3%成長予測

総合・ビジネス

パソコン世界出荷13%増

政界

野党・自民、再起は遠く

テレビ・ラジオ10面

WORLD MARKETS

株

日経平均　午前終値
1万580円58銭
(+67円78銭、+0.64%)

NYダウ　12日終値
1万1755.44ドル
(+83.56ドル、+0.71%)

ナスダック　12日終値
2737.33
(+20.50ポイント、+0.75%)

FTSE100(英)　12日終値
6050.72
(+36.69ポイント、+0.61%)

上海総合　現地10時
2829.835
(+8.530ポイント、+0.30%)

韓国総合　現地11時
2102.81
(+7.86ポイント、+0.37%)

為替・金利

円相場　東京11時